

2024年4月24日

低炭素水素製造事業計画が 「中部圏低炭素水素認証制度」に認定

明治電機工業株式会社（社長：杉脇弘基、本社：愛知県名古屋市）は、再生可能エネルギーを活用した低炭素な水素サプライチェーンモデルの構築を目的とした低炭素水素製造に係る事業計画「再生可能エネルギー由来水素利活用プロジェクト」が、本日「中部圏低炭素水素認証制度」に認定されましたので、お知らせします。また、来る5月9日（木）に当社豊田支店におきまして、開所式ならびに認定式を執り行います。

中部圏低炭素水素認証制度は、中部圏（岐阜、愛知、三重の3県）において、低炭素な水素サプライチェーンの構築に取り組む事業者を支援するため、水素の製造、輸送、利用の各過程に伴う二酸化炭素の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する制度です。2018年4月に愛知県が低炭素水素認証制度として運用を開始し、2023年4月からは、中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議の取り組みとして対象範囲を中部圏に拡大し、「中部圏低炭素水素認証制度」として実施されています。

本事業は、当社豊田支店の社屋に設置した太陽光発電の余剰電力（非稼働日発電分）を活用し、水電解水素製造装置にて水素を製造し貯蔵。その水素を利用し、当社製純水素型定置式燃料電池発電機から電気を供給し、新社屋の電力ピークカット、非常時給電（BCP）を実現するエネルギーマネジメントシステムです。なお、本事業は環境省による脱炭素社会構築に向けた「再エネ等由来水素活用推進事業」にも採択されており、さらに、知立市とは「災害時における緊急時避難先設備の使用に関する覚書」を締結し、豊田支店の一部を災害が発生した際の緊急避難場所として活用いたします。

当社は、「ものづくりにおけるカーボンニュートラルへの貢献」を経営の主要施策のひとつとして掲げ、地球温暖化防止に向けたCO₂排出量の削減や大気汚染防止のためには、グリーン水素の利活用が重要であると考えます。今回の認定を受け、今後も、グリーン水素利活用実証への積極的な参画や、水素バリューチェーン推進協議会（JH2A）での活動を通じて、水素社会の実現に貢献してまいります。

■認定内容

認定年月日	2024年4月24日（水）
プロジェクト名	再生可能エネルギー由来水素利活用プロジェクト
場所	豊田支店（愛知県知立市西町宮腰 45）
水素製造施設の種類	水電解
水素製造に充てる再生可能エネルギーの種類	太陽光発電電力
低炭素水素製造予定量	2,556 m ³ N/年（重量換算値 0.23 t-H ₂ /年）

■開所式および認定式概要

日時：2024年5月9日（木）11:00 から 13:00 まで

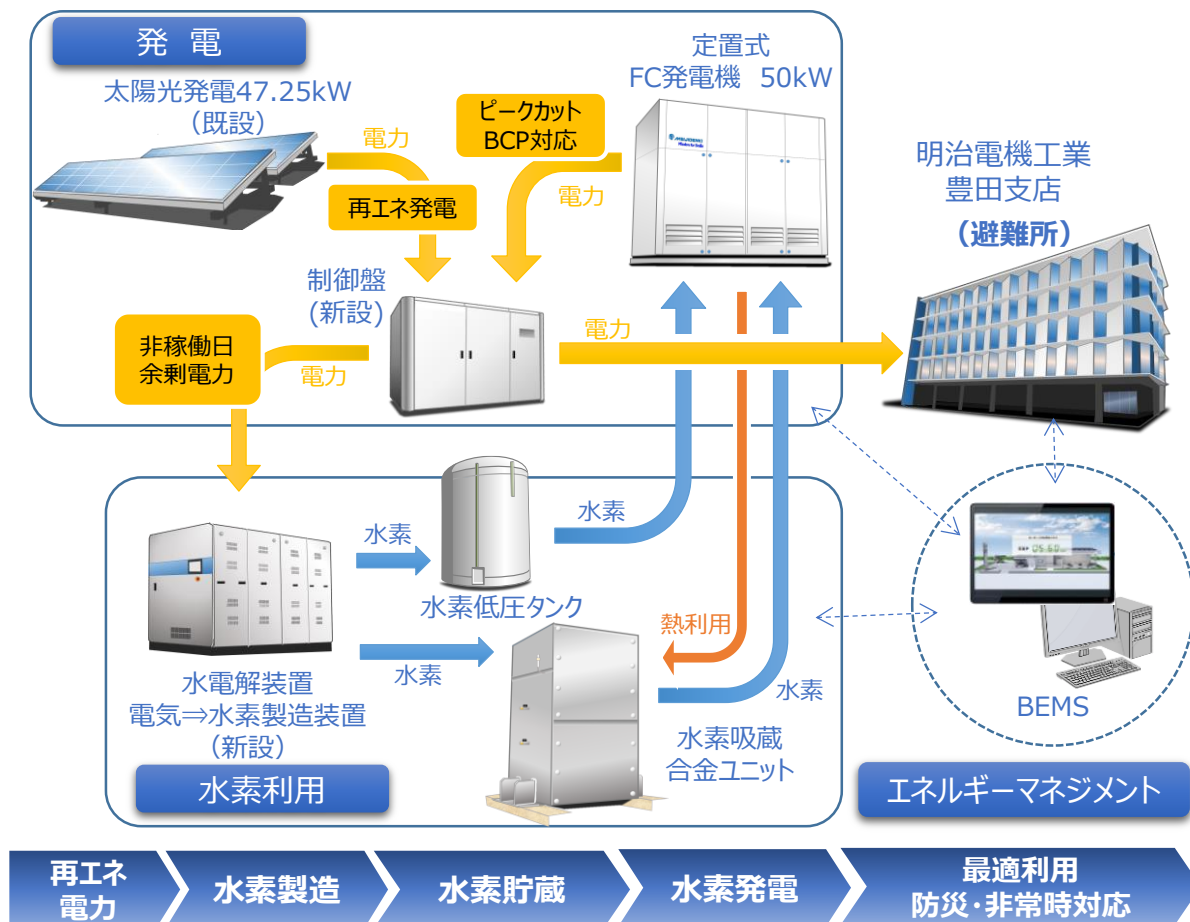
場所：明治電機工業株式会社 豊田支店

〒472-0023 愛知県知立市西町宮腰 45

内容：中部圏低炭素水素認証制度の認定式

本事業関係者による水素利活用設備テープカットなど

■システム概要



【本件に関するお問い合わせ先】

明治電機工業株式会社
エンジニアリング事業本部
エネルギー事業推進部
TEL (0566) 82-8513
e-mail : mec-support@meijidenki.co.jp